

JR  
観光列車

ラ・マル

せとうち

玉野高吹奏楽部がJR岡山駅と瀬戸内各地を結ぶ観光列車「ラ・マル・ド・ボア」の宇野行き「ラ・マル せとうち」にオリジナル曲を提供した。下りの車内で乗客に自動配信される観光ガイドのオープニングを飾り、穏やかな海など自然に恵まれた市の魅力をアピールする。(西崎哲也)

## 玉野高吹奏楽部協力

# 独自曲市の自然表現

オリジナル曲は「ラ・マル・ド・ボア」に寄せて。宇野駅で演奏会をした縁でJR側が昨夏、オリジナル曲作りと出演を依頼。玉野の海や自然の美しさを思わせる優雅でテンポの良い曲調で、旅の始まりの高揚感をかきた。

同高が2020年秋、宇野駅で演奏会をした縁でJR側が昨夏、オリジナル曲作りと出演を依頼。同高は地域貢献の一環として協力を決め、同部顧問の山田明日香教諭が作曲し、昨秋に同高で演奏風景を収録した。



「ラ・マル せとうち」到着に合わせて、乗客を演奏で歓迎する玉野高吹奏楽部

## ガイド配信、旅「わくわく」演出

「ラ・マル せとうち」が本年度初めて運行された2日、同高吹奏楽部員ら20人が宇野駅構内でオリジナル曲など7曲を演奏。満席の列車からホームに降り立った45人が聞き入り、手拍子を送るなど楽しんだ。

3年大塚葛華部長(17)は「玉野を盛り上げる取り組みに参加できてうれしい。演奏や映像を通じて、わくわくした気持ちで玉野に来てほしい」と話していた。

観光ガイドは宇野行きの下り限定で、スマートフォンを事前設定することで列車の移動に合わせて、市内の飲食店や観光スポットを紹介する7本の動画が自動で流れる。オリジナル曲は大元駅辺りで再生が始まり、吹奏楽部の演奏とともに宇野港や市内の飲食店、ホテル、玉野海洋博物館、王子が岳の映像が約2分半映し出される。

「ラ・マル せとうち」は4月の土日、8月の金土日に運行する。

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。